

エクシードTM 粉剤DL

IsoclastTM active

水稻用殺虫剤

水稻の大敵、斑点米カメムシ類や、ウンカ類、ツマグロヨコバイに優れた殺虫効果を発揮!
吸汁性害虫防除のスペシャリストが、ついに誕生。
速効力と持続力で、お米づくりをサポートします。

★池田二三高氏撮影



斑点米を徹底阻止!
吸汁性害虫防除の新たな力!

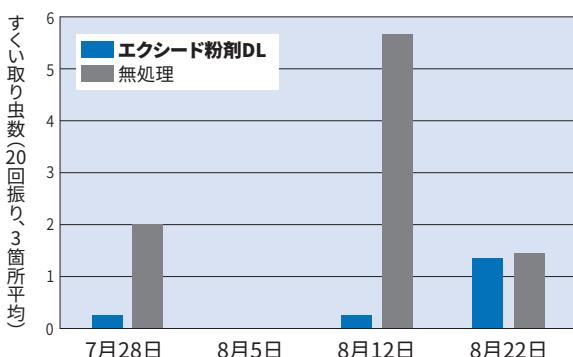
水稻用殺虫剤

■特長

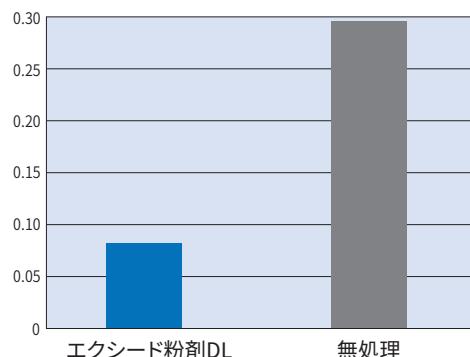
- 1：新規の「スルホキシミン系」殺虫剤です。
- 2：水稻で問題となる斑点米カメムシ類※、ウンカ類、ツマグロヨコバイに安定した効果を示します。
- 3：散布回数は3回まで、収穫7日前まで使用できます。

※カスミカメムシ科、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、ミナミアオカメムシなど各種斑点米カメムシ類に対し、優れた斑点米抑制効果を示します。

■カメムシ類への効果



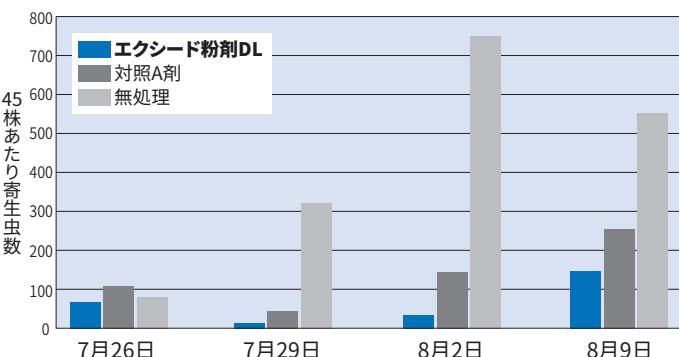
■斑点米率



2016年 新潟県農業総合研究所作物研究センター

【試験概要】 ●発生状況：中発生（アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、オオトゲシラホシカムシ） ●区制：1区78m² (6.5×12m) 3反復 ●処理方法：7月28日に手動粉剤散布機（ミゼットダスター）を用いて所定量を散布。 ◆調査方法：カメムシ類密度調査は調査日に20回振りのすくい取りを行った。斑点米量調査は8月31日にイネ20株を採取し、乾燥・粉砕後、粗玄米300-320gを抽出し、1.85mmの篩で選別した玄米全粒について斑点米を数えた。

■ウンカ類（セジロウンカ）への効果



【試験概要】 ●発生状況：中→多発生（セジロウンカ） ●品種：ヒノヒカリ（移植：6月27日） ●区制：1区53.7m² (6.1×8.8m) 3反復 ●処理方法：7月26日に粉剤はミゼットダスターを用いて散布。液剤散布は動力噴霧器にて112ℓ/10aを散布。 ◆調査方法：調査日に区中央部の15株について水面払い落とし調査を行った。葉害は適宜肉眼で観察した。

■適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	10アール当たり使用量	使用時期	使用方法	本剤およびスルホキサフルを含む農薬の総使用回数
稻	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	3kg	収穫7日前まで	散布	3回以内

■使用上の注意事項



- 本剤はできるだけ飛散を少なくするように製剤されており、一般的の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しづって散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ②関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
 ●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

製造

コルテバ・ジャパン株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号
山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2022年11月現在の知見に基づき、作成されています。